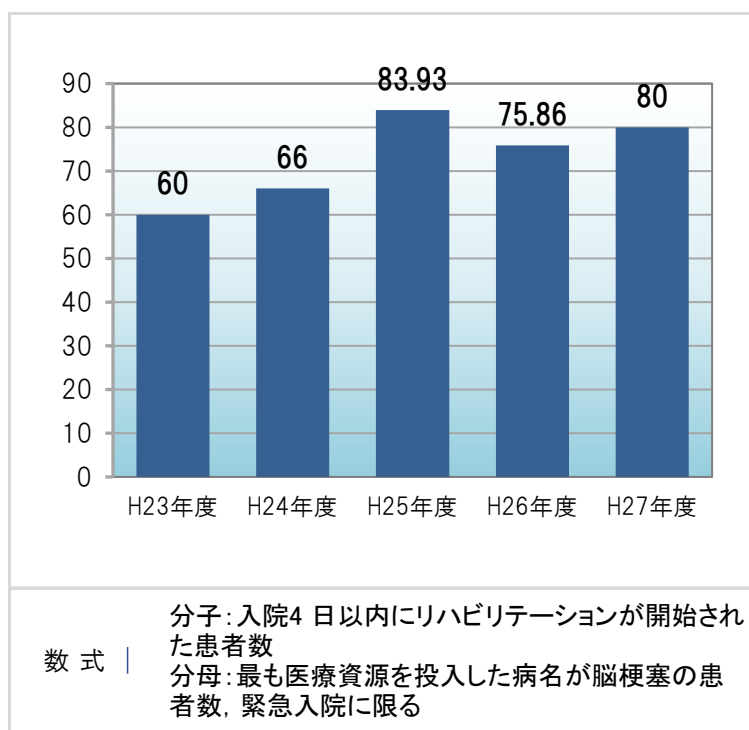


8 脳梗塞の早期リハビリテーション実施率

● 項目の解説

脳梗塞患者へのリハビリテーション早期実施は有効であり、適切なリハビリテーションの開始により、入院期間の短縮やQOLの改善にもつながります。より適切な医療介入を評価するものです。DPCデータより病名と入院時の状況を把握して、脳梗塞の新鮮発症かつ緊急入院患者に限定しています。

● 当院の実績



単 位 | %

期 間 | 年間

備考・コメント

椎骨脳底動脈不全やもやもや病の検査入院等を除いた実際に脳梗塞を発症した患者をDPCデータより抽出しています。リハビリテーション部をはじめ、関係各部門のスタッフの努力により、全国でも高い実施率となっております。

平成27年度国立大学病院平均値 65.13%

● 定 義

緊急入院した脳梗塞の早期リハビリテーション実施率(%)です。

分子:入院4日以内にリハビリテーションが開始された患者数です。

分母:最も医療資源を投入した病名が脳梗塞の患者で、発症から3日以内、且つ、緊急入院した患者数です。院内発症した脳梗塞症例は含みません。3日以内退院と転帰が死亡である場合は除きます。再梗塞を含みません。